



▲農畜産物品評会受賞者の皆さま



▲う宮米生産販売協議会が
富士宮産JAブランド米
「う宮米」を販売



▲女性部が「ニコ・ニコおむすび大作
戦!」でおむすびと野菜たっぷりの
豚汁を販売

各祭りで地域交流を深める

富士宮地区では11月から12月にかけて各祭りを開き、地域の皆さまとの交流を深めました。11月は市と合同の「富士宮市農業祭」を同地区本部駐車場で開催した他、一支店一同活動として富士宮富丘支店が「富丘交流センター祭り」に参加出店、12月は柚野支店が「JA柚野支店祭」を運営開催しました。

支店運営委員会や女性部・青壮年部なども出店し、投げ餅の他、農産物や大学芋など屋台グルメを販売。地域に向けて地元農産物のおいしさと魅力を発信しました。



▲富士宮富丘支店が子どもたちと
栽培したサツマイモで「さつまス
ティック」を販売



▲柚野支店祭会場で投げ餅をする
運営委員の皆さま

地域のわだい

各部会で出荷シーズン迎える



富士宮地区の苺部会や加工野菜部会などが、11月下旬から出荷シーズンを迎えました。

加工野菜部会は、加工・業務用キャベツを2月下旬頃まで県内のカット野菜加工業者に出荷しています。長期出荷を可能にするため富士宮育苗センターでは早生から晩生の寒玉系4品種の苗を約16万3500本供給。本年度は部員13人で176トン以上の出荷を目指します。

富士宮苺部会では全5軒で静岡県のイチゴ品種「きらび香」を栽培し6月まで出荷します。市場出荷後は、地元アイスクリーム店・カフェの商品用に完熟冷凍イチゴを出荷する計画です。



地域福祉に貢献 人形供養祭収益金寄付

▶宇佐美常務(右)に収益金を手渡す深澤地区本部長(中)と瀧川センター長



深澤俊光富士宮地区本部長とおもいやり富士宮会館の瀧川雅彦センター長は、地域福祉に役立ててもらおうと11月29日、富士宮市社会福祉協議会に人形供養祭の収益金30万4,800円を寄付しました。

深澤地区本部長が「JAとして地域の支えになればうれしい。ぜひ役立ててほしい」と手渡し、同協議会の宇佐美巧常務理事兼事務局長は「毎年地域福祉に協力いただき大変ありがたい。貴重な財源として大切にに使わせていただく」とお礼を述べました。

寄付は平成29年から毎年行っています。

山宮地区組合員・北山支店&山宮小学校

3年生は総合学習の一環として、地元生産者の金森行博さんの畑で支店職員・女性部北山支部部員と育ててきたサツマイモを10月に収穫しました。1ヵ月貯蔵し熟成させた後、



50kgを使って12月に干し芋作りに挑戦。金森さんからコツを学び、手作りのおいしさを味わいました。



富士宮富丘支店運営委員会・青壮年部富丘支部 &富丘小学校

3年生は運営委員や青壮年部員のサポートでサツマイモを栽培し10月に収穫して、家で味わいました。支店では収穫したサツマイモを使って11月の富丘交流センター祭りでさつまスティックにして販売しました。【P1参照】



富士宮北部支店運営委員会&富士根北小学校

3年生は総合学習の一環で、地元の伝統野菜「村山ニンジン」の収穫を体験しました。

運営委員や支店職員がクワやスコップで土を深く掘った後、児童たちはクラスメートと協力しながら、慎重に土をよけて収穫。きれいに掘れたニンジンを見せ合うなど笑顔が広がりました。



JAと地域の

食農教育活動

富士宮営農経済センター・女性部・青壮年部 &市民親子の皆さま



親子20組64人が参加して食育体験の集大成の餅つき大会を開催。育てたもち米やサツマイモを使って、女性部と青壮年部の協力のもと、餅や鬼まんじゅう、サツマスティック・チップスを作り参加者に振る舞いました。

食育クイズ・重さ当てクイズなども行い表彰した他、JAから参加者全員にお米をプレゼントしました。

青壮年部富士根支部・富士根支店&杉田幼稚園



年長園児がバケツ稲作りで収穫したもち米と、JAが提供したもち米計18kgを使って、全園児が餅つきを体験しました。

青壮年部員と一緒に杵を持ちながら「よいしょ」のかけ声で一生懸命餅をつき、鏡もちを作ったり、きなこ餅にしたりして味わいました。

女性部・青壮年部・富士宮営農経済センター &富士宮市PTA連絡協議会



市内小中学校PTA会員の親子約80人の餅つき大会にJA職員や女性部・青壮年部が協力しました。つくたての餅を味わったほか、食育クイズを楽しみました。

老後の備えとして

国が支える 積立方式で安心

農業者年金

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

年間60日以上
農業従事

国民年金1号
被保険者
国民年金保険料
納付免除者を除く

60才未満
※60歳以上65歳未満でも、
年間60日以上農業に
従事し、国民年金任意
加入者なら可。

●積立で方式で安心

●加入・脱退も自由

●保険料は全額社会保険料控除

●保険料はいつでも変更できる

●農業の担い手には保険料補助

●終身年金80歳までの死亡一時金あり

お問い合わせ
独立行政法人農業者年金基金
JAふじ伊豆
富士宮営農経済センター地区営農課

電話:03-3502-3942(企画調整室)
電話:03-3502-3199(専門相談員)
電話:0544-58-7182

農業者年金
の特典

ローン・年金・投資信託

夜間相談会 相談料無料

新規ローン、借換相談、年金手続き、年金予約、投資信託(新NISA)などさまざまなご相談にお答えします。お気軽にご来店ください。

富士宮地区本部(富士宮市外神東町117)

2月13日(木) 3月13日(木)

17:00~19:00

☎0544-58-6611(地区金融課)

※お電話でのご相談も可能です。
※ご来店の場合は、人数によりお待ちいただく場合
もありますので、事前のご予約をおすすめいたし
ます。



ふじのみや資材館からの 今のイチオシ!

寒さが厳しい季節になりました。ふじのみや資材館では、生産者の皆さまや農作物の寒さ対策にぴったりのグッズをとりそろえています!



ハウス栽培用器具

ハウスヒーター 暖太郎

- ビニールハウス内の空気を対流させることで、凍害・霜害から作物を保護します。※1
 - 植物の光合成を助長し、成長を促進します。
- ※1 ビニールハウス内の温度を上げるものではありません。

タンク容量:約4L(灯油式) 発熱量:約2762kJ/時
 燃焼時間:50~60時間 (約0.8kW/時)



促成栽培用ロウソク

- 冬季夜間のビニールハウス内の保温、野菜の凍結防止、霜除け防止などに!
- 燃焼時に発生する炭酸ガスが、野菜・植物の育成促進に好果をもたらします。

- 左 200号(直径55mm×高さ400mm)
 燃焼時間:83時間
- 右 500号(直径79mm×高さ475mm)
 燃焼時間:196時間



佐野 恭介職員

ネックウォーマー



※時期によって価格が変動する場合があります。価格や使用方法などの詳細は職員にお尋ねください。

売り場には
 ネックウォーマーや防寒手袋も
 そろえています!



佐野 侑生職員

- ◎ 富士宮地区内のJA支店で肥料農薬、農機部品などが注文できます!
- ◎ 原則、富士宮市内は無料配達! 商品のお取り寄せも承ります!

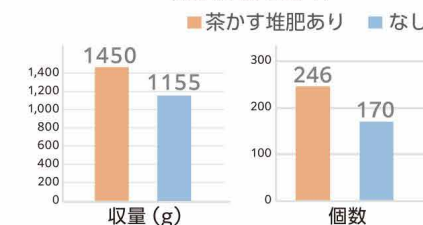
【お問い合わせ】ふじのみや資材館 住所:富士宮市外神102-5 営業時間:午前8時~午後4時(火曜定休) 電話:0544-58-7164

冬の農作業時の お役立ちアイテム!!



▲落花生を選別し、調査する生徒たち

【図1】栽培効果の比較 (規格外品を除く)



富岳館高校・JA・地元企業が連携 落花生の試験栽培 ~結果報告~



◆方法◆
 茶かす堆肥あり、なしの区画(どちらも化成肥料N-P-Kは施肥済み)で比較栽培。5株ずつ収穫して栽培効果を調査。

◆結果◆
 茶かす堆肥を施さないで栽培したものより、収量は1.26倍、個数も1.45倍多く、外観も良い粒が多いことが分かりました。

【図1】
 同校の田島聖也教諭は「本来廃棄してしまうはずの茶かすを活用した堆肥を有効的に用いて、栽培効果も検証でき、SDGsに貢献できてよかった。JAと地元企業から2年連続でご協力いただきありがたい。生徒も地域農業の発展につながる活動に生き生きと取り組んでいる姿が印象的だった。他の作物についても検証したい」と話していました。

静岡県立富岳館高校の特産物研究班の生徒は、アサヒ飲料が開発した茶かす堆肥を使って落花生の栽培試験を行いました。富士宮地区営農課とJA子会社の(株)JA富士山駅は畑の提供や活動をサポートしました。本年度の収量や品質を調べると昨年に続き2年連続で良い結果が現れたのでご紹介します。

キラキラ★女性部

JAふじ伊豆女性部富士宮地区本部内の
 さまざまな活動をご紹介します。



▶深澤俊光地区本部長
 (写真⑥)もプレー

富士宮地区本部

支部間越えてワンダ・ゴルフ交流

11月26日開催のワンダ・ゴルフ大会では、富士宮地区の9支部161人とJA職員が参加して支部混合チームでプレーを楽しみました。

会場では宮茶レディースが参加者の水分補給用に数種類のお茶を振る舞いました。結果は次の通りです。

◆【団体】①上野支部②芝川支部③富士宮富丘支部

◆【個人】①石川千秋さん(富士宮北部)②稲葉明美さん(上野)③志村久美子さん(富士宮富丘)④田村多美枝さん(上野)

地区本部役員は12月20日、富士宮市社会福祉協議会の支援事業に協力し、子どもたちや生活困窮者にクリスマスを祝うお弁当とプチケーキ35人分を作りました。

部員が持ち寄った野菜や地元牧場提供の牛肉で手ごねハンバーグやローストビーフ、ポテトサラダや煮物、グリーンピースごはんを作ったほか、プチケーキには青年部の荻真教副部長提供のイチゴで「莓サン」をあしらいました。



▲地区本部役員の皆さま

愛情がこもったクリスマス弁当。ふたには、折り紙サンタを飾り付け!

富士宮地区本部

クリスマス弁当づくり5年目

芝川支部

芝川支部では、7月のうどんづくりに続く2回目の交流活動として11月19日、地域活動支援センター「バンブー」の利用者としてそばづくりを行いました。

利用者は部員の手ほどきでそば粉と小麦粉、山芋をこねて伸ばし、切るところまでを体験。部員が利用者の肩を貸しながら袋入りの生地を足踏みするなど和気あいあいと触れ合いました。



▲めん棒で伸ばし方を教える部員⑥
 麺のコシを出すため仲良く足踏み♪▶



そば作りでふれあいの輪広がる

宮茶レディース

お菓子作りでお茶活用!

宮茶レディースは11月25日、黒田小学校3年生の総合学習のサポートとして、お茶を使ったお菓子教室を開きました。

茶農家の杉山弘子代表がお茶やサツマイモを提供し、蒸しパンと抹茶ラテ&ほうじ茶ラテを作って味わいました。児童たちは、「苦みがなくお茶の香りがしてとてもおいしい」と話し、杉山代表は「子どもからお年寄りまで身近な食材と



▲作ったお菓子を味わう児童たち

あわせてお茶を丸ごと味わってほしい」と話していました。